

認知症は、 対応できます。

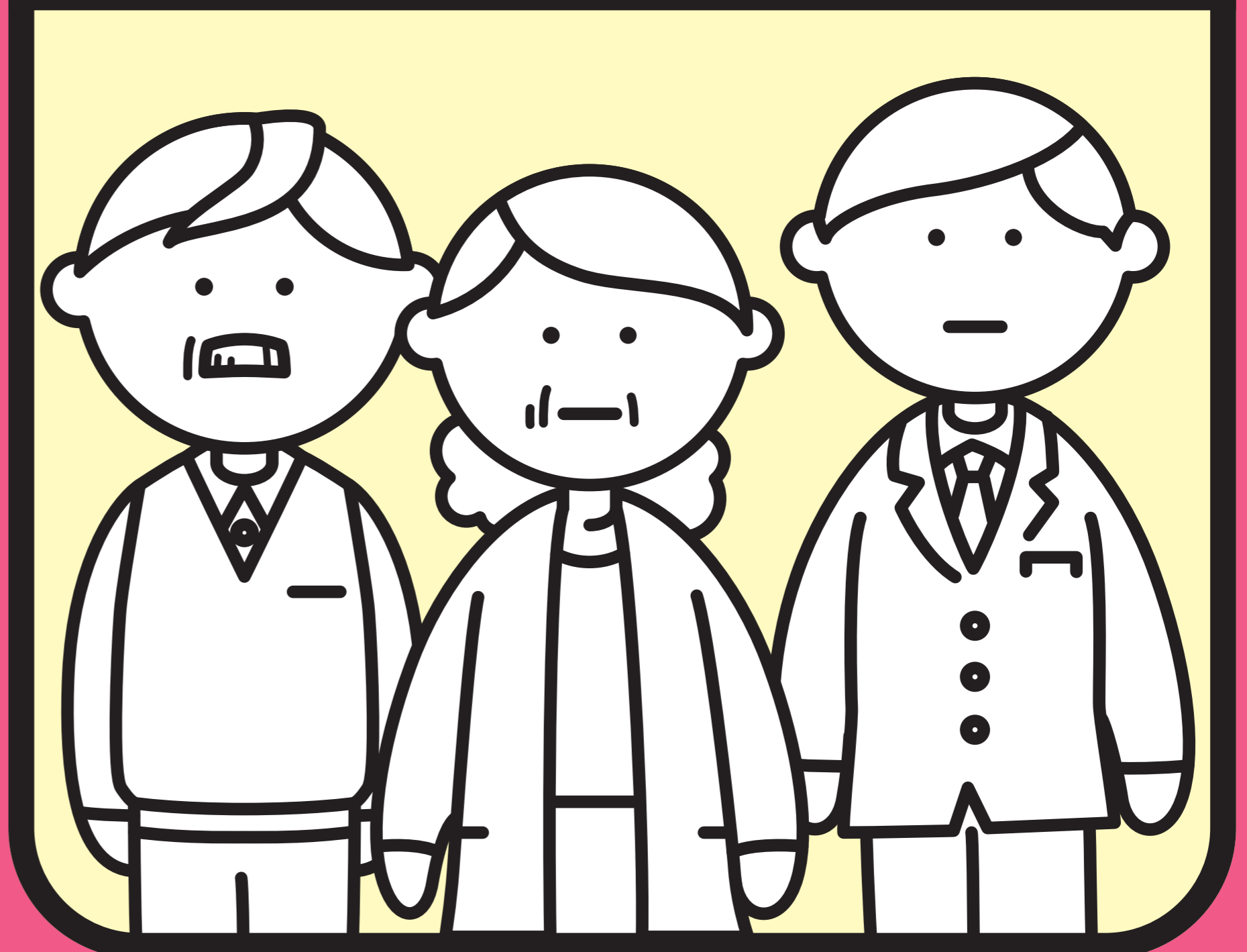
「年をとることによるもの忘れ」と
「認知症によるもの忘れ」は違います。

「認知症によるもの忘れ」は、例えば昨日の夕食のメニューのヒントを出されても、食事したことそのものをすっかり忘れてしまい、思い出すことが難しくなります。



認知症は他人事ではありません。

認知症は、誰にでも起こりうる脳の病気です。



『認知症』は、脳の神経細胞が壊れることなどにより、脳の働きが低下してしまう病気です。さまざまな原因でおこり、例えば、現在の年月や時刻、自分がどこにいるかなど、**基本的な状況が分からなくなる見当識障害や、ものごとを考えたり判断にも支障が出てくる**といった症状が現れます。政府の新オレンジプランによると、我が国における認知症の人の数は2012(平成24)年で約462万人、**65歳以上高齢者の約7人に1人と推計**されています。本県においても、「**認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の高齢者数は、平成27年度には約3万3千人、平成37年度には約3万9千人**となる見込みです。認知症にはいくつかの種類があり、主なものとしては「**アルツハイマー型認知症**」などがあります。それぞれ症状や適切なケアに違いがありますので、まずは、**早期診断・早期対応**が大切です。



できます。
認知症

【認知症について、もっと詳しくお伝えしています】

◎かがわの認知症 高齢者支援サイト
<http://www.pref.kagawa.lg.jp/choju/support/>

◎認知症の人と家族の会 香川県支部
<http://www.calib.jp/pa/kazoku/>

早期対応が効果的です。

自分の身に、家族に「もしかしたら」があれば、いち早く専門医に。



毎年9月は『**かがわ認知症予防月間**』です。